

いもち病の発生に留意し、適期の対策を実施しましょう！

いもち病は、水稻で最も重要な病害の一つで、葉いもちの発生は、減収に直結する穂いもちの発生要因となります。

6月下旬にいもち病の発生調査を行った結果、葉いもちの発生ほ場率は平年よりやや高く（表1）、発生株率を考慮すると全般に平年並の発生でした。また、[BLASTAM](#)による葉いもち感染好適条件は6月中旬以降に連続して出現しています（表2）。

気象庁発表の1か月予報（7/13～8/12）では、気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は少ないため、いもち病の発生にはやや適しています。

今年は出穂が平年より早まることが予測されているため、例年発生の多いほ場を中心に、早めに適切な防除を行いましょう。

表1 葉いもちの発生状況調査結果（6月下旬）

地区	調査ほ場数	発生ほ場率（%）	
		本年値	平年値
県北	30	13.3	7.3
県央	27	10.7	9.7
県南	20	10.0	7.0
県全体	77	11.5	8.0

表2 BLASTAMによる6月中旬以降の葉いもちの感染好適条件の出現日数

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
6/17	○	-	-	●	●	-	-	-	-	○
6/18	○	●	-	●	-	-	-	●	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○
6/24	○	●	-	-	-	-	-	●	●	-
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	●	●	-	-	-	●	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	-	●	-	●	●	-	-	-	-	-
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/01	○	●	●	-	-	-	-	-	●	-
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/04	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
7/06	●	-	-	-	-	-	-	○	○	-
7/07	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-

●：感染好適条件：湿潤時間中の平均気温が15～25℃であるなどの気象条件。

これの出現した日から7～10日後に発病する可能性がある。

○：準感染好適条件

好適条件に準ずる気象条件。



写真1 葉いもち（停滞型病斑）



写真2 穂いもち（○内）

●防除対策

- (1) ほ場内をよく観察し、いもち病の発生状況を確認する。特に、山間地域の常発地や葉色の濃いほ場、箱施用剤を使用しなかったほ場では特に注意する。
- (2) 上位葉に葉いもちが多いと、穂いもちが多くなるので、表3を参考に穂いもち防除を徹底する。
- (3) 液剤で防除する場合、出穂直前から穂ぞろい期に防除を行う。
- (4) 粒剤で防除する場合、効果の発現までに7～10日かかるので、適切な時期に使用する。
- (5) 葉いもちに効果のある予防剤（箱施用剤など）を施用したほ場でも被害が発生することがあるので、発生状況を見てRACコードの異なる薬剤を使用して防除を行う。

表3 いもち病に登録のある主な薬剤 (令和6年(2024)年6月30日現在)

薬剤名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	成分 総使用回数	FRACコード
ブラシンプロアブル	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	フェリムゾン フサライド	2回以内 3回以内	U14 16.1
ダブルカットフロアブル	1000倍	穂揃期まで	2回以内	カスガマイシン トリシクラゾール	4回以内 4回以内	24 16.1
カスミン液剤	1000倍	穂揃期まで	2回以内	カスガマイシン	4回以内	24
トライフロアブル	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	テブフロキン	2回以内	U16
コラトップ豆つぶ	250～375g/10a	葉いもちに対しては 初発10日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前まで	2回以内	ピロキロン	3回以内	16.1

詳細は、農業総合研究センター防除課（Tel 028-665-1244）までお問合せ下さい。
 病害虫情報発表のお知らせは「農政部X (@tochigi_nousei)」、
 農業総合研究センターホームページ (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>)
 でもご覧になれます。



6月～8月は「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。
 いつものチェック！ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！

